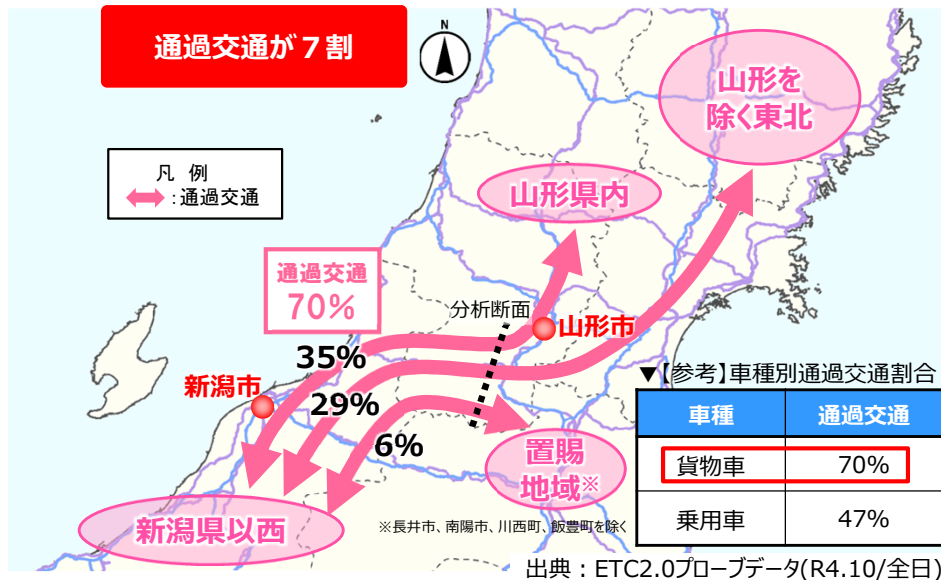


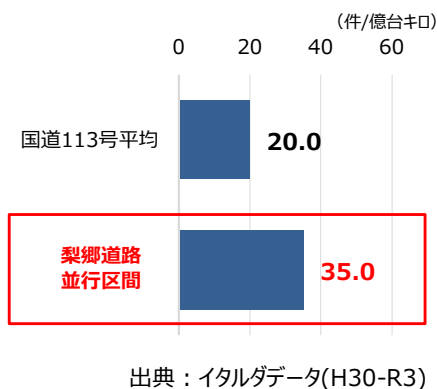
国道113号 梨郷道路【地域の広域物流を支援】

- ◆ 梨郷道路の並行現道である国道113号は、貨物車両の通過交通が7割と高く、太平洋と日本海側を結ぶ広域的な幹線道路。
- ◆ 一方、死傷事故率および追突事故割合が高く、事故に伴う通行規制が多数発生。
- ◆ 梨郷道路の整備により、信頼性の高いネットワークが形成され、地域の広域物流を支援。

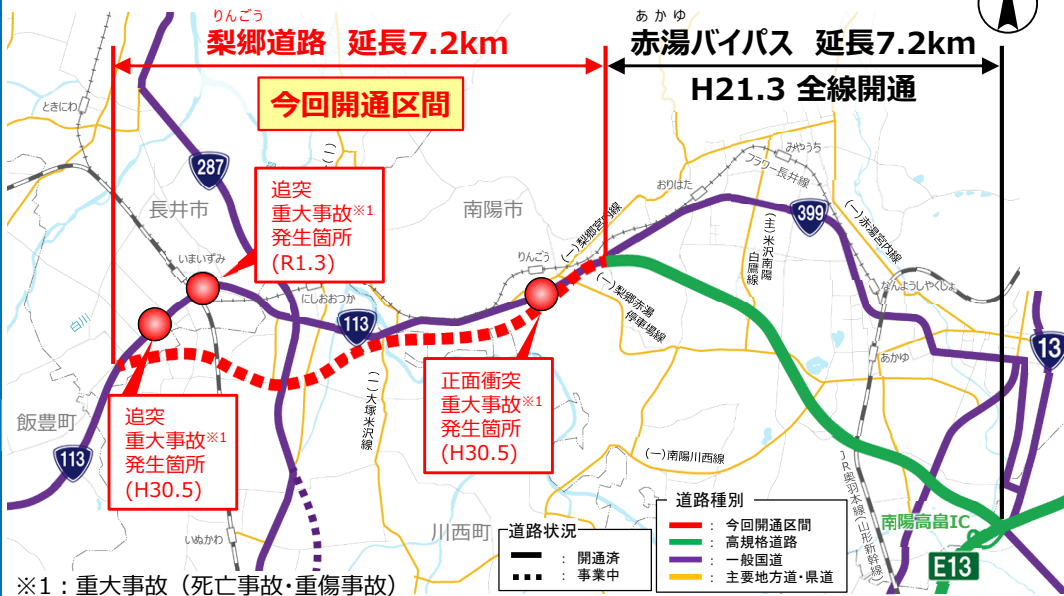
▼国道113号の貨物車両の通過交通割合（分析断面：梨郷地区）



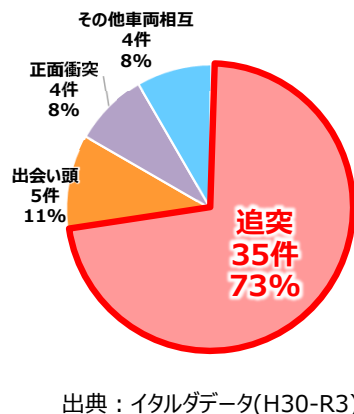
▼国道113号の死傷事故率



▼梨郷道路並行現道における重大事故発生状況



▼梨郷道路現道区間の事故類型割合



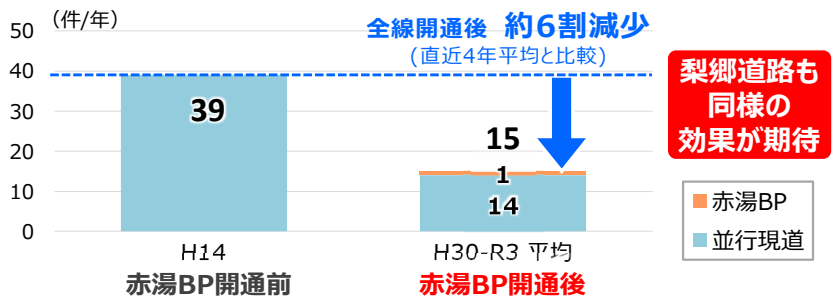
▼梨郷道路現道区間の通行規制発生状況（過去30年間：H5.4～R5.3）

原因	通行規制発生回数
災害	1回
事故	33回
計	34回

出典：山形河川国道事務所

**死傷事故率及び追突事故割合が高く
事故による通行規制が多数発生**

▼隣接する赤湯バイパス及び並行現道の死傷事故件数推移



物流事業者の声



- 国道113号は山形県内から中部、関西方面への物流に欠かせない道路で、通行止めのリスクのほか、梨郷地区では事故が多い印象があります。
- 梨郷道路が出来れば、市街地の通過が必要なくなり、事故の危険性が減り、通行規制等に巻き込まれることなく、**安全性・信頼性の向上**が期待されます。

出典：ヒアリング結果（R5.7）